

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第3部門第3区分
【発行日】平成18年1月12日(2006.1.12)

【公表番号】特表2005-509707(P2005-509707A)
【公表日】平成17年4月14日(2005.4.14)
【年通号数】公開・登録公報2005-015
【出願番号】特願2003-545708(P2003-545708)
【国際特許分類】

C 0 8 G 65/10 (2006.01)

【F I】
C 0 8 G 65/10

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月15日(2005.11.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

弗化水素及び二重金属シアニド錯体触媒の存在下で開始剤をアルキレンオキシドと接触させる工程を含む方法。

【請求項2】

前記開始剤が、ヒドロキシル基含有開始剤である請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記方法が、(i)弗化水素の存在下で開始剤をアルキレンオキシドと接触させる工程、及び(ii)二重金属シアニド錯体触媒の存在下で工程(i)の生成物をアルキレンオキシドと接触させる工程を含む請求項1又は2に記載の方法。

【請求項4】

工程(i)の生成物が、100～2,000の数平均分子量を有する請求項3に記載の方法。

【請求項5】

前記方法が、(a)二重金属シアニド錯体触媒の存在下で開始剤をアルキレンオキシドと接触させる工程、及び(b)弗化水素の存在下で工程(a)の生成物をアルキレンオキシドと接触させる工程を含む請求項1又は2に記載の方法。

【請求項6】

工程(b)に存在するアルキレンオキシドが、環構造中の炭素原子数が少なくとも3個である環状エーテル化合物と任意に組み合わせられる、エチレンオキシドである請求項5に記載の方法。

【請求項7】

請求項1～6のいずれか1項に記載の方法で得られるポリエーテルポリオールを含有する組成物。

【請求項8】

ポリエーテルポリオールと、組成物全量に対し弗化水素0.0005重量%～10重量%と、組成物全量に対し二重金属シアニド錯体触媒5～50ppmとを含む組成物。

【請求項9】

請求項7又は8に記載のポリエーテルポリオール組成物を、任意に発泡剤の存在下で、少なくとも2つのイソシアネート基を含有する化合物と反応させる工程を含む方法。